優秀賞

n＋LDK＆J

設計趣旨

鶴崎工業

安　永　　翔

鶴崎工業

蒲　池　彩　人

テレワークやリモートワークが普及し、住宅の中に仕事が持ち込まれるようになってきたが、住宅のかたちはｎ＋LDKを基本とした間取りから、大きな変化がないように感じる。

私は、仕事はON、住宅はOFFの場であり生活の場、という、異なる役割をもった関係であると考えており、「現状ではそれぞれが互いに中途半端なものになってしまう」と考えた。

そこで、IT化がすすむことにより、今後も住宅に仕事が取り入れられることを前提に、「生活（OFF）の場」と「仕事（ON）の場」を独立したものにし、IT化によってより希薄化していくであろう「地域との関わりスペース」を備えた住宅、「ｎ＋LDK＆Ｊ」を提案する。

建設地は、産業低迷や人口減少を打破すべく、「ITアイランド構想」を掲げている姫島村を想定し、生活の場と仕事の場を中庭で区切ることで互いに干渉せず、ONとOFFの意識の切り替えをスムーズに行えるよう設計した。

互いに独立したものとして、仕事場を従来の住居に取り入れたものが、ｎ＋LDK＋Ｊで、私たちの考える現代に必要な住宅のかたちである。